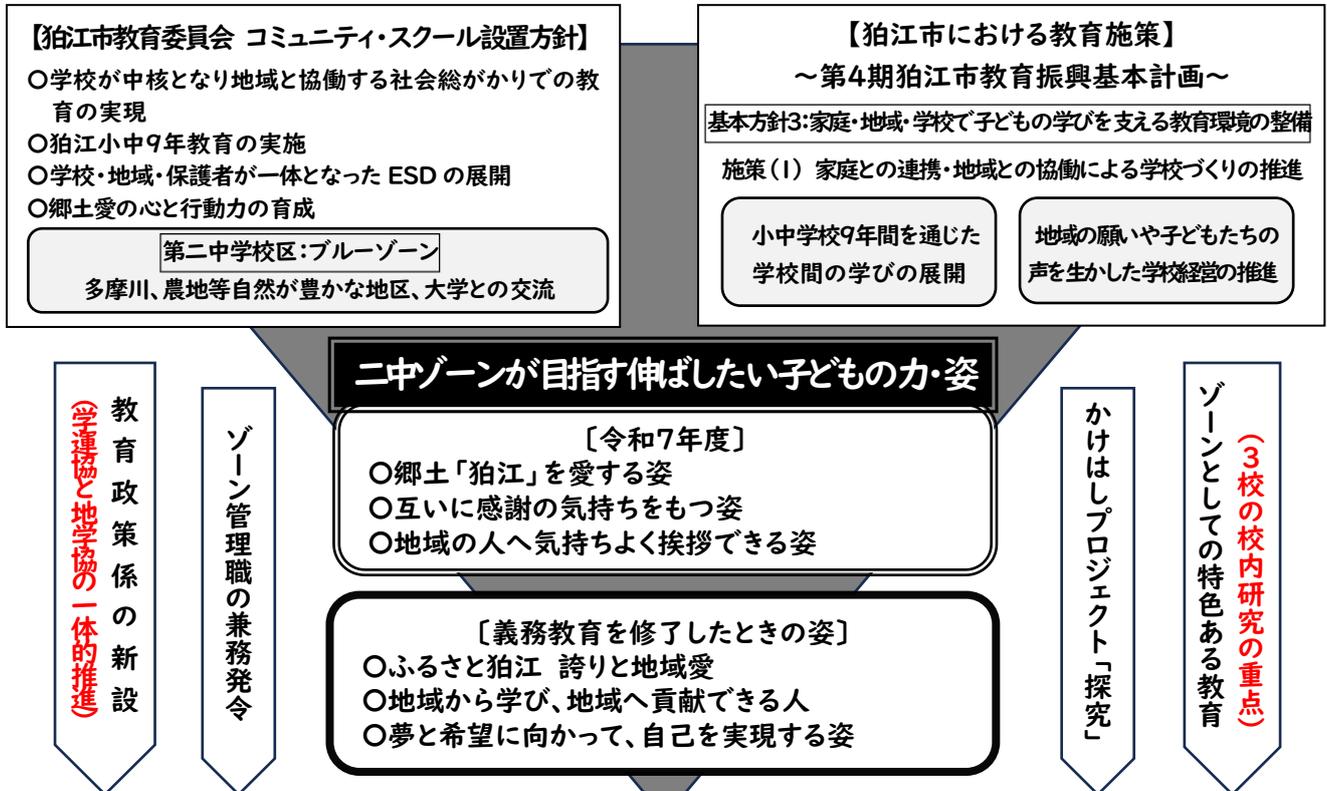
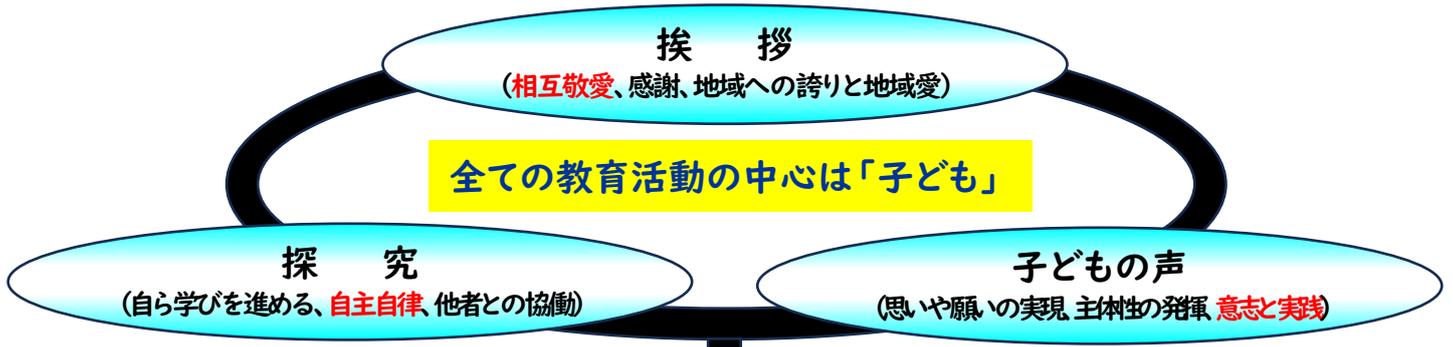


今後の二中ゾーンにおけるコミュニティ・スクールの方向性について



二中ゾーン3校におけるカリキュラム連携の具体的推進



- 令和7年度の「CSの会」における取組
- 各分科会での協議(何ができるか)→3校での実践(今年度の教育活動での取組へ)
※児童・生徒、保護者、地域への発信(コミュニティ・スクールであることへの理解促進)
 - 令和8年度に向けて「二中ゾーンが目指す伸ばしたい子どもの力・姿」の見直し
 - 令和8年度の3校の教育課程への反映
 - 3校管理職(校長・副校長)の各校での講話・授業観察等の実施

1 二中ゾーンが目指す伸ばしたい子どもの力・姿

第二中学校区：ブルーゾーン

多摩川、農地等自然が豊かな地区、大学との交流

【令和7年度】

- 郷土「狛江」を愛する姿
- 互いに感謝の気持ちをもつ姿
- 地域の人へ気持ちよく挨拶できる姿

【義務教育を修了したときの姿】

- ふるさと狛江 誇りと地域愛
- 地域から学び、地域へ貢献できる人
- 夢と希望に向かって、自己を実現する姿

目指す力・姿を踏まえ、二中ゾーンの特色を生かした教育の推進

2 二中ゾーン3校におけるカリキュラム連携の実際

挨拶

(相互敬愛、感謝、地域への誇りと地域愛)



【研究協議会の様子】

3校の校内研究に共通するものは「探究」…児童・生徒が自ら学びを進めていく力をゾーンで育成していきます。各校の校内研究に相互に参加しています。

探究

(自ら学ぶを進め、主体的に他者との協働)

中学生が小学校と一緒に挨拶運動はこれまでもありましたが、今年度は、小学生が中学校へ行って一緒に挨拶運動をしました。9月以降も小中一緒に挨拶の輪を広げます。



【小中一緒に挨拶運動】

昨年度のCSの会で、各校の生徒会・児童会の子どもたちが「今、がんばっていること」「地域の方と一緒にできそうなこと・やってみたいこと」を発表しました。

◆がんばっていること

- ・校則の改善や行事の工夫
- ・他学年との友情の深まり
- ・ボランティア活動 など

◆地域の方と一緒に…

- ・挨拶運動の継続
- ・多摩川清掃
- ・フリマ (服のリサイクル)
- ・掲示板の活用 など

子どもの声

(思や願の親主体的発信と実践)

【参考】

「狛江市こどもの権利条例(案)」令和7年8月
(意見表明及び参加・参画の促進)

第17条 市は、子どもに関する施策について、子どもが安心して意見表明し、参加・参画することができる機会を提供します。
2 市、大人、保護者、施設関係者及び団体は、子どもが安心して意見表明することができる機会を提供し、子どもの意見、気持ち及び考えを聴いて検討した上で、検討した結果と、その理由について子どもに伝えていくよう努めます。

3 本日のCSの会

子どもたちが「夢と希望に向かって、自己を実現する姿」へと成長していくためには、自分たちの「やりたい!」「こうしたい!」の声を実現する経験を積み重ねていくことが大切です。

子どもの声を聞いて終わりではなく、二中ゾーンの中で、子どもの声を生かした具体的な取組を「創る」「熟議」を、本日のCSの会で行い、実現につなげていきたいと考えています。